



吊りクランプの安全な取り扱い方

POINT

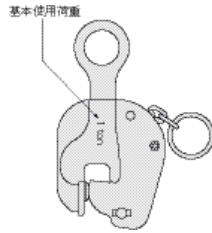
ご使用になる前に必ずお読みください

誤った使い方はしないでください。事故の原因になります。

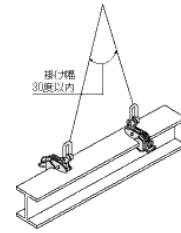
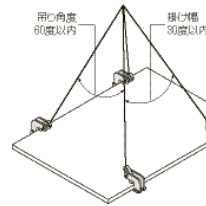
安全な使用方法

形式選定

- 縦吊りか横吊りかを決める。
- 何点吊りかを決める。● 取り付け位置を決める。
- ※ 表示容量の厳守 / 重量：基本使用荷重以内
板厚：開口部有効範囲内

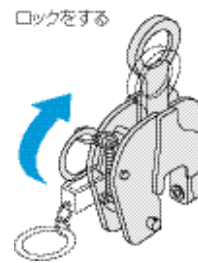
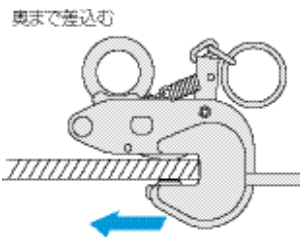


基本的な掛け幅、吊り角度



クランプの取り付け

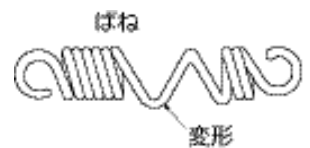
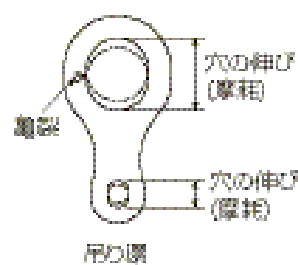
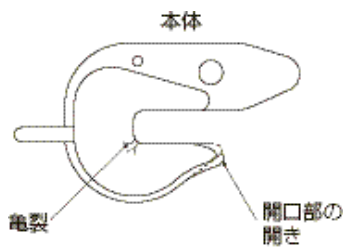
- 玉掛けワイヤとクランプの連結には、必ずシャックル等を用いる。
- バランスのとれる位置に取り付ける。
(2個以上のクランプでの吊り上げの励行)
- 開口部の奥に当たるまで確実に差し込む。
- ロック装置は確実に作動させる。
- カム・ジョー・可動部にかみ込んだ塗料・汚泥等を除去してから使用する。
- 吊り荷のつかみ部にある油等の付着物は除去する。



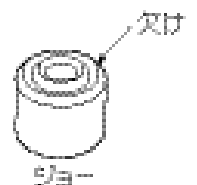
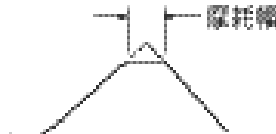
点検と廃棄基準

クランプ使用前には必ず点検を実施して次の異常が発見されたら即時取替えまたは廃棄してください。

本体、吊り環、リンク、ピン、ばね等に変形・亀裂・伸び(摩耗)のあるもの。



カム、ジョーに摩耗・欠けのあるもの及び摩耗幅が0.8mm以上のものは廃棄。

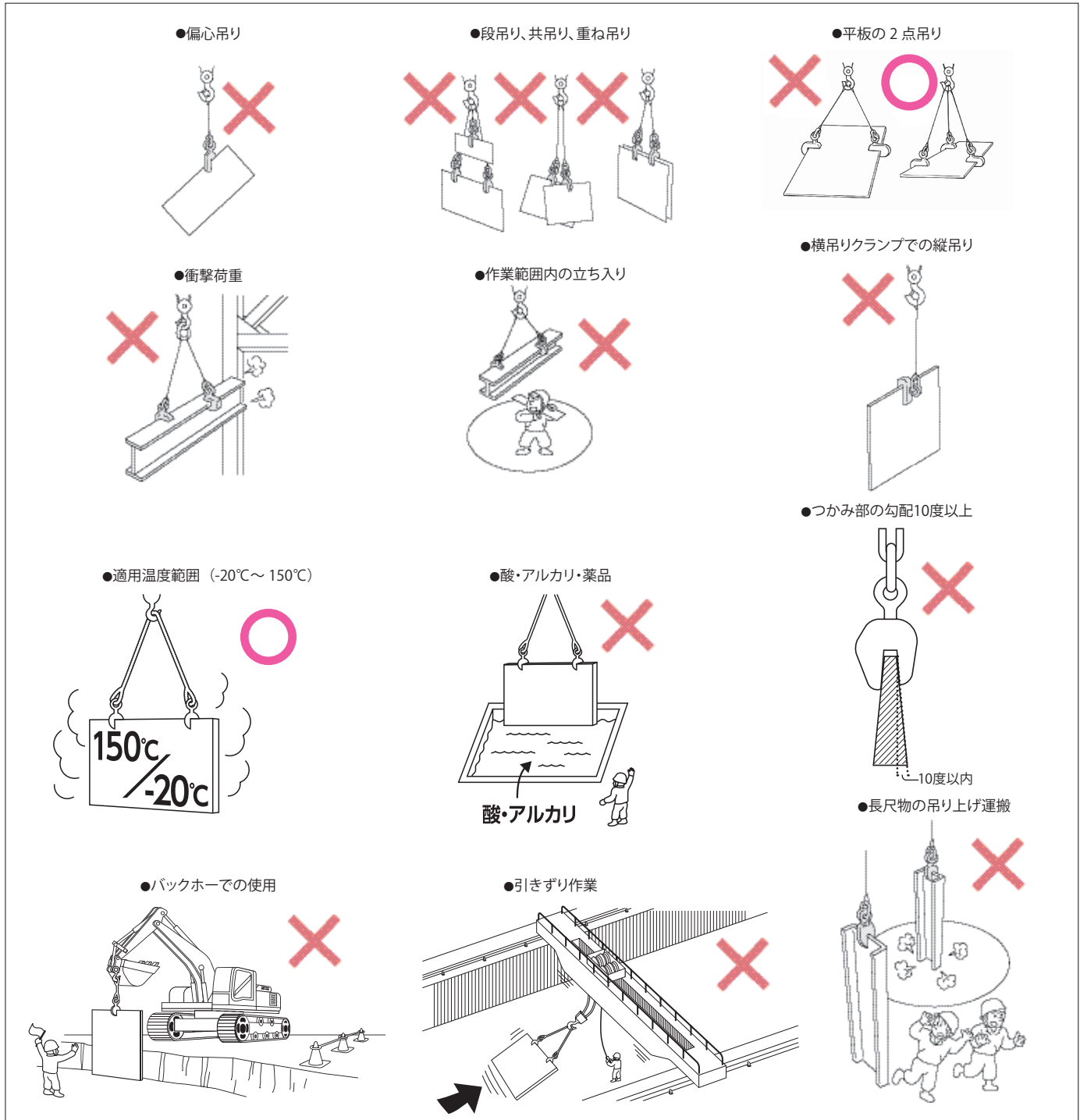


吊りクランプの安全な取り扱い方



POINT

注意事項を順守して正しく使用しましょう



⚠️ その他の注意事項

- 玉掛け作業以外には使用しないでください。
- 法定資格のない人は絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないでください。
- ぜい性材、高硬度材および低硬度材や強度の著しく低い材料には使用しないでください。
- 吊り荷の荷重が、使用するクランプの基本使用荷重の許容範囲内であること（基本使用荷重の1/5より軽いものは吊らないでください）。
- 吊り荷の板厚が、使用するクランプの許容範囲内であること。
- 強風時など危険が予想される場合は使用しないでください。
- クレーンを巻き上げる時に、吊り環に荷重がかかった時点で一旦停止して安全確認を行ってください。
- クランプおよび付属品の改造は、絶対にしないでください。
- クランプおよび付属品に溶接、加熱などをしないでください。
- 修理が必要なクランプは別の場所に保管し、誤って使用されないように注意してください。
- 保守点検・修理をする時は、必ず空荷（吊り荷が無い）の状態で行ってください。
- クランプは必ず室内に保管してください。